

2012年5月7日

一般社団法人日本ヒープ協議会の代表理事に第一生命職員が就任

第一生命保険株式会社(社長 渡邊 光一郎)のDSR推進室兼DSR品質推進部部长、細島芳が一般社団法人日本ヒープ協議会の代表理事に就任しました。

日本ヒープ協議会は、企業の消費者関連部門などに働く女性で構成され、生活者と企業のパイプ役としてより良い仕事をするため、その能力向上を目的に1978年に設立された団体です。

当社は、多くの女性が活躍する日本ヒープ協議会の活動を賛助会員として支援しています。

当社は1902年の創立以来、経営理念に「お客さま第一主義」を掲げ、日々、「お客さまの声」を経営に反映させるとともに、消費者の視点でご意見をいただく「消費者モニター制度」の運営や各地域の消費生活センターへの定例訪問を通じた生命保険に対する消費者や相談員からのご意見等の収集活動など、消費者の視点を取り入れる取組みを積極的に行っています。

また、職員の消費生活アドバイザー資格取得の推進(注1)や、日本ヒープ協議会や公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)(注2)などへの積極的な参画等により、消費者・生活者の視点を活かして業務を遂行する職員の育成に努めています。

これらの取組みが、当社職員が日本ヒープ協議会代表理事に選任されたことにつながったものです。

なお、当社はダイバーシティ推進の一環として女性職員がいきいきと活躍する職場づくりに努めていますが、この度の当社女性職員の就任はその象徴的な取組みでもあります。

当社は引き続き、創立以来受け継いできた「お客さま第一主義」をさらに追求し、今後もお客さまから最も支持される会社を目指してまいります。

(注1) 当社職員の消費生活アドバイザーの有資格者は307名(2012年3月末現在)。

(注2) 公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)とは、企業や事業者団体の消費者関連部門に所属し、日々消費者の声に接している責任者・担当者が業種を超えて集う組織で、消費者の声を企業内に伝え、企業への消費者からの信頼の構築を図ることを主たる目的とし、1980年に設立された団体。

一般社団法人 日本ヒーブ協議会 (<http://www.heib.gr.jp/>)

日本ヒーブ協議会は、企業の消費者関連部門などに働く女性が、生活者と企業のパイプ役としてより良い仕事をするため、その能力向上を目的に 1978 年に設立されました。関西・九州にも支部を持ち、2012 年 4 月現在、食品・化学・家電・流通などの様々な企業（89 社）における消費者対応・消費者教育・広報・商品開発・CSR など多様な業務に携わる女性たちが会員（約 110 名）として活動しており、月例会や分科会活動を通じて、情報や意見の交換を行ないながら、生活者視点を活かして各企業で活躍しています。

以上